



山科としょかんだより

- for teens -

2018年 春号



一 生き方探求・チャレンジ体験一

「生き方探求・チャレンジ体験」で図書館の仕事を体験した皆さんからのオススメ本を紹介します！！ 今回は安祥寺中学校と山科中学校の生徒さんです！

■安祥寺中学校 森島 聡悟 さん

『でんしゃでいこう でんしゃでかえろう』

間瀬 なおかた/作・絵 ひさかたチャイルド

僕が紹介する本は『でんしゃでいこう でんしゃでかえろう』です。長い名前ですが『でんしゃでいこう』が「やまのむら」の中にある「やまのえき」から「なのはなばだけ」にある「うみのえき」に向かって、『でんしゃでかえろう』は逆から読み「うみのえき」から「やまのえき」に行くという話です。絵がきれいなことやトンネルのところだけ絵がくりぬいてあることがポイントです。ちなみにこの絵本にかかっている電車は実在しない架空の電車です。色はオレンジと緑の湘南色とよばれるものに近く、急カーブの多いローカル線です。もし実在したら写真がきれいに撮れることのできるポイントが多いかもしれません。

■山科中学校 藤城 詢一郎さん

『君の名は。』 角川つばさ文庫

新海 誠/作 ちーこ/挿絵

KADOKAWA

僕が紹介する本は『君の名は』です。知っている方もおられると思いますが、映画版とマンガ版もあります。主人公は、二人の高校生の少年と少女です。ちなみにこの本を読むきっかけは、中学二年の夏休みでした。当時、僕はぜんそくで入院していました。そして退院してから僕は、すっかり元気をなくしていましたが、ある友達がこの本の物語に感動したらしく、元気のない僕に希望をあたえてくれると言われたので、読んでみました。すると、やはり、ものがたりの展開にすごく感動しました。なぜなら二人が三年という時間の壁を越えて、成人になってからようやく会えたからです。この本は、元気のない人でも希望と勇気と感動を与えてくれます。なので、皆さんもぜひ、この本を読んでみてください！



本を借りるには・・・

京都市図書館全館共通の「図書館カード」が必要です。まだカードを持っていない人は、住所を確認できるもの（生徒手帳など）を持参して、図書館で申し込んでください。

資料は、1人10点まで2週間借りることができます。（CD、DVDは2点まで）他の京都市の図書館にある本や雑誌、CD、DVDを取り寄せて、借りることもできます。

期限内に読み切れなかったときは、一度だけ貸出延長ができます。（返却期限が過ぎていたり、次に予約が入っている資料は延長できません）

パスワード

パスワードを登録すると、家のパソコンやスマートフォンから本の予約や貸出期間の延長ができます。

読んでみませんか？

『絵物語 古事記 KOJIKI』

富安 陽子/文 山村 浩二/絵 三浦 佑之/監修 偕成社



日本最古の歴史書『古事記』につづられている神話の部分が、絵物語としてまとめられています。『いなばのしろうさぎ』や『海幸彦と山幸彦』など、絵本で読んでもらった人もいるのでは。長い年月をかけて伝えられてきた神さまたちの物語。



このほかにも「ティーンズコーナー」に おすすめの本が いっぱいあるよ！

『関野吉晴ゼミ カレーライスを一から作る』

前田 亜紀/著 ポプラ社

この本に書かれているのは、普通のカレーライスの作り方ではありません。野菜を種から育て、お米を苗から育て、肉になる鳥もヒナから育て、塩もスパイスも器もスプーンも、全部一から作る。そんなカレーライス作りに参加した学生たちの9ヶ月間の記録。



『パーちゃんのパーカ』
ミシシッピ/作
あかね書房

パーちゃんは、着ると空が飛べたり、透明になったりする不思議なパーカを持っています。ある日、夜の湖に出掛けたパーちゃんは、湖の主に飲み込まれてしまうのですが…。

京都在住の画家が描く絵本。もしかして山科のあそこ？と思われる風景が！！

『一〇五度』 佐藤 まどか/著 あすなる書房



椅子デザイナーをめざす少年が、女子とチームを組んで「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦することになった。

『お仕事ナビ 13 ライフラインを支える仕事』

お仕事ナビ編集室/編 理論社



仕事現場をのぞき、職業人の一日に密着するシリーズ。13巻は、私たちの暮らしになくてはならない電気やガス、水道といったライフラインを支える仕事を紹介します。

京都市山科図書館

〒607-8086

京都市山科区竹鼻四丁野町 34-1

電話(075)581-0503

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分

土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時

■休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日の時はその翌平日）
年末年始

